

釣

アルテンベルヒ Peter Altenberg

森鷗外訳

青空文庫

「釣なんというものはさぞ退屈なものだろうと、わたしは思うよ。
」こう云ったのはお嬢さんである。大抵お嬢さんなんというものは、釣のことなんぞは余り知らない。このお嬢さんもその数には漏れないのである。

「退屈なら、わたしはしないわ。」こう云ったのは褐色を帯びた、ブロンドな髪を振り捌さばいて、鹿の足のような足で立っている小娘である。

小娘は釣をする人の持前の、大いなる、動かすべからざる真面目の態度を以て、屹きつぜん然として立っている。そして魚を鉤はりから脱して、地に投げる。

魚は死ぬる。

湖水は日の光を浴びて、きらきらと輝いて、横わっている。柳の匂におい、日に蒸されて腐る水草の匂がする。ホテルからは、ナイフやフォークや皿の音が聞える。投げられた魚は、地の上で短い、特色のある踊をおどる。未開人民の踊のような踊である。そして死ぬる。

小娘は釣っている。大いなる、動かすべからざる真面目の態度を以て釣っている。

直き傍に腰を掛けている貴夫人がこう云った。

「ジュ ヌ ペルメツトレエ ジャメエ ク マ ファイユ サ
ドンナアタ ヌヌ オキュパシヨン シイ クリュエル」

“ [Je ne permettrais jamais, que ma fille s'adonna^t a` une occupation si cruelle.] ”

「宅の娘なんぞは、どんなことがあつても、あんな無慈悲なことをさせようとは思いません」と云つたのである。

小娘はまた魚を鉤から脱して、地に投げる。今度は貴夫人の傍へ投げる。

魚は死ぬる。

ぴんと跳ね上がつて、ばたりと落ちて死ぬる。

単純な、平穩な死である。踊ることをも忘れて、ついと行つてしまふのである。

「おやまあ」と貴夫人が云つた。

それでも褐色を帯びた、ブロンドな髪、残酷な小娘の顔には深い美と未来の霊とがある。

慈悲深い貴夫人の顔は、それとは違って、風雨に晒された跡のように荒れていて、色が蒼い。

貴夫人はもう誰にも光と温とを授けることは出来ないだろう。それで魚に同情を寄せるのである。

なのであの魚はまだ生を有しながら、死なねばならないのだろう。

それなのにぴんと跳ね上がって、ばたりと落ちて死ぬるのである。単純な、平穏な死である。

小娘はやはり釣っている。釣をする人の持前の、大いなる、動

かすべからざる真面目の態度を以て釣っている。大きな目を睜みはつて、褐色を帯びた、ブロンドの髪を振り捌いて、鹿の足のような足で立っているのがなんともいえないほど美しい。

事によつたらこの小娘も、いつか魚に同情を寄せてこんな事を言うようになるだろう。

「宅の娘なんぞは、どんな事があつても、あんな無慈悲なことをさせようとは思いません」などと云うだろう。

しかしそんな優しい霊の動きは、壊された、あらゆる夢、殺された、あらゆる望の墓の上に咲く花である。

それだから、好い子、お前は釣をしておいで。

お前は無意識に美しい権利を自覚しているのであるから。

魚を殺せ。そして釣れ。

(明治四十三年一月)

青空文庫情報

底本：「於母影 冬の王 森鷗外全集」ちくま文庫、筑摩書房
1996（平成8）年3月21日第1刷発行

入力：門田裕志

校正：米田

2010年8月5日作成

2011年4月23日修正

青空文庫作成ファイル：

このファイルは、インターネットの図書館、青空文庫 (<http://www.waozora.gr.jp/>) で作られました。入力、校正、制作にあたった

のは、ボランティアの皆さんです。

釣

アルテンベルヒ Peter Altenberg

2020年 7月13日 初版

奥付

発行 青空文庫

著者 森鷗外訳

URL <http://www.aozora.gr.jp/>

E-Mail info@aozora.gr.jp

作成 青空ヘルパー 赤鬼@BFSU

URL <http://aozora.xisang.top/>

BiliBili <https://space.bilibili.com/10060483>

Special Thanks

青空文庫 威沙

青空文庫を全デバイスで楽しむ青空ヘルパー <http://aohelp.club/>

※この本の作成には文庫本作成ツール『威沙』を使用しています。

<http://tokimi.sylphid.jp/>